



## 学都たつの輝きと歴史・文化が薫るまちを目指して

### 第18回たつの市中学生サミット実施(8月2日) ～「深めよう絆、広げよう友情」～

たつの市では、平成24年度から市内6つの中学校の生徒会役員18人が集い、兵庫県立大学 竹内 和雄准教授の指導の下、「たつの市中学生サミット」を開催しています。

サミットでは、市内の小中学生の課題について議論します。初めて顔を合わす生徒がお互いに打ち解けられるように、人間関係を築くことを目的としたアクティビティを議論の合間に行っています。最初は、緊張していた生徒も、アクティビティを通して心と体をほぐし、笑顔の中で活発な議論が交わされています。

今年度は、すべての小中学校に導入された1人1台のクロームブックの活用やその中で出てきた課題、今後の利用方法等についてグループで話し合いを進めました。お互いに打ち解けた生徒は、兵庫県立大学の学生のサポートもあり、積極的に意見を交わしました。「リモートで行った集会活動」「興味がわいたり疑問を感じたりしたときに、クロームブックでその場で検索」など、様々な活用ができました。一方、休み時間の活用など、「ルールと使い方を見直していきたい」という意見も出ました。これは、生徒だけではなく、参加していた教師からも同様の意見が出され、生徒と教師とで学校のルールをさらによいものにしていくことになりました。

活動を終えた生徒は、「他校がどのような取組をしているか分かったので参加してよかった」「次のサミットに向けて学校でできることに取り組んでいきたい」など、意欲的に感想を発表していました。

今後は、今回の中学生サミットで共有した意見をもとに、課題解決に向けて、各校で自分たちができることを考えていきます。そして、12月に開催する中学生サミットで、実践したことを情報共有するとともに、「端末利用の3カ条」をつくり、中学校だけでなく、小学校や保護者、地域へ発信する予定です。



▶学校教育課(☎64・3179)



## お米が食卓に並ぶまで ～田植え体験～



食育推進連絡会  
議公募委員  
花田 未来さん

たつの市には若手農家さんで作ったグループ「赤とんぼクラブ」があります。

今回は、赤とんぼクラブ食育部が主催した田植え体験に参加してきました。姫路市やたつの市から5組のご家族が参加されていました。お米が田んぼから食卓に並ぶまでの過程やその背景、苗から米になるまでにたくさんの作業があること、田んぼに住む生き物との関係など、ためになるお話を聞いた後、実際に手で稲を植えました。虫が怖くて田んぼの中に入れない子、「泥って気持ちいい～」と言って田んぼに座り込む子、最後まで黙々と田植を頑張った子。ゆったりと時間が流れる中、それぞれが自然を五感で楽しみ、そして田んぼで暮らす生き物たちの命をしっかり感じ、田植え体験が終了しました。

「あなたの体はあなたの食べたものでできています。コツコツと、地道に、時間をかけて、体験に参加して下さる方と、一緒に食の大切さを学んで行けたらと思っています」と赤とんぼクラブのみなさん。

赤とんぼクラブでは、10月頃に「稲刈り体験」、11月頃に「サトイモ収穫&料理体験」「さつまいも収穫体験」などを予定しています。詳しくは、赤とんぼクラブのフェイスブックかインスタグラムをご確認ください。



▶農林水産課(☎64・3157)



## 人権文化の創造をめざして —学ぼう人間の尊厳—

191

### 「人権文化をすすめる 市民運動」中央大会

8月1日(日)に赤とんぼ文化ホールで、「人権文化をすすめる市民運動」中央大会が2年ぶりに開催されました。

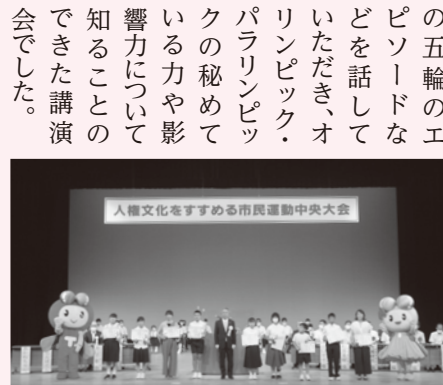
オープニングアトラクションでは、龍野西中学校吹奏楽部の皆さんが、コロナ禍で全員が揃って練習ができにくいなか、頑張ってきた成果を披露し、参加者の皆様を迎えていただきました。

記念式典では、山本市長が、「中央大会が本市の人権文化あふれるまちづくりの大きな原動力になることを期待します」と挨拶を述べ、続いて根本たつの市民主化推進協議会会長が、「結婚問題の解決は若い世代になるにつれて進んでおり、あと一歩というところまできている。コロナ対策を万全にして今後人権教育・啓発をすすめていきたい」と挨拶されました。

人権作品(ポスター・作文・標語)の入賞者表彰に続き、作文の部で市長賞受賞者の作文朗読がありました。小宅小学校6年生密航航さんは、「肌の色や見た目で差別するのではなく違いを認め、一人ひとりを大切にできる人になりたい」、龍野東中学校1年生和田梨沙さんは、

「同和問題の不合理さに納得できない。身の周りにいる人たちが大切にする意識を持てば、この問題は解決すると信じている」、播磨特別支援学校3年生川口 歩優さんは、「障害者という言葉に違和感がある。健常者と同じようにできないことがあっても、誰もが心から笑い、互いに理解し、受け入れられる日が来るとほしい」とまっすぐな思いを語り、その主張は多くの共感を得ました。

記念講演では、元NHKアナウンサーの小野塚 康之さんに「アナウンサーから見たオリンピック・パラリンピック」と題して、多様性を尊重した東京五輪2020や過去の五輪のエピソードなどを話していただき、オリンピックの秘めている力や影響力について知ることのできた講演会でした。



▶人権教育推進課(☎64・3182)



## 消防最前線

186

▼西はりま消防組合たつの消防署(☎63・3511)

### 「コンセント」大丈夫ですか？

家にいる時間が増えて、スマホの充電やゲーム機、扇風機などのコンセントがタコ足になっていませんか？一度確認してみてください。使用方法を間違えると火災のおそれがあります。定期的な確認・清掃を心掛けてください。



火災の恐れのある使用方法(例)タコ足なコード、断線したコード

### 地震、風水害時の電気火災防止対策

地震や風水害後、断線し、垂れ下がった電線には、絶対に触らないでください。一度水につかった屋内配線や電気機器は、漏電など火災の原因

### 救急車の適正利用を！

全国的に救急出動件数が増加していますが、救急車の数には限りがあります。病気の程度が軽い方を救急搬送することで、緊急性の高い重篤な方への対応が遅れてしまうことがあります。救急車が本当に必要な方のためにも、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 救急搬送の約4割が軽症者

救急搬送された軽症者のなかには、かすり傷や、症状に緊急性がなくても、「交通手段がない」「優先的に診察してもらえない」など、安易な理由での要請も含まれています。

### 救急相談窓口や救急受診アプリを活用しよう

病気の程度が軽いとき、「救急車」を呼んだ方がいいのか、「どこかの病院に行けばいいのか」と迷うことがあります。か。そのような時には、救急相談窓口がありますのでご相談ください。

◇播磨姫路小児救急医療電話相談(☎079・6924874)

2021年1月1日からの  
**市内の災害状況**  
(8月20日現在)

火災 9件 救急 1,987件 救助 46件

西はりま消防組合ホームページのご案内  
<http://fd-nishiharima.jp/>

災害情報案内(自動音声案内)  
☎0791・76・7150

休日・夜間病院案内(自動音声案内)  
☎0791・76・7160



「Q(救)」QRコード

